

児童発達支援事業所サンケアキッズ
における自己評価結果(公表)

公表年月日 令和6年3月1日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			1階と2階それぞれ活動ができるスペースが広くとってあり過ごしやすくなっている
	2 職員の配置数は適切である	○			適切に配置されている
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			玄関の一部に段差があるが、そのほかは段差がない構造になっている。情報伝達には絵やわかりやすい文字を用いて、利用者がわかるように工夫している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			毎日清掃消毒を行い、利用者が清潔で心地よく過ごせる環境になるように配慮している。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			定期的に会議を実施し、課題や目標についてPDCAサイクルにより職員全体で振り返り検討している。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			評価結果に基づき業務改善につなげている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページに掲載している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	現在第三者等による評価は行っていない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			毎月、及び適宜研修を実施し、外部研修にも積極的に参加している。
適切な 支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			本人及び、保護者からのアセスメントを行い計画をたてている。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			専用のアセスメントシートを使用している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			「本人支援」「家族支援」「地域支援」の項目に対する意識を強化し、モニタリング等で意向等情報収集を行い適切な支援計画をたてていく
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			計画に沿った支援ができるように配慮している。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			事前に活動プログラムを立案し、細かく精査し、協議を重ね、実行している。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			毎回同じ曜日にならないように、同じ参加者にならないように、同じプログラムにならないように協議し、検討し工夫している。季節感のあるプログラムを行えるよう工夫している。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			個別の課題がなるべく活動の内容等に沿ってできるように支援している。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝礼時にその日行われる支援の内容や役割分担を確認している。
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			終礼時に、その日の活動・支援の振り返りを実施している。	

適切な支援の提供	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録を徹底し、情報共有し、支援の改善につなげるように配慮している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期及び随時面談等を行い、計画を立案している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援責任者の参加と、実際に支援を行っている職員に参加を促している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		こども園や関係機関と連携し発達支援を行っている、	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				現在は該当の利用者がいないが、利用の希望があれば対応可能な範囲内で対応していく
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				現在は該当の利用者がいないが、利用の希望があれば対応可能な範囲内で対応していく
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		今後移行支援としての連携を強化していく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		今後移行支援としての連携を強化していく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			昨年度は発達支援アドバイザー派遣事業に参加し、沢山の助言を受けた。今年度も引き続き発達支援アドバイザーによる振り返りがあり、昨年度の成果を話し合う機会を設けた。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	現在までに交流の機会はなかったが、今後は交流できる機会を増やしていきたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			白山市の部会に参画している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			利用時の状況等、課題についての共通理解を図っている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○			保護者とのやりとりにいろいろなツール(電話やLINEなど)を利用し、都度の不安解消や、細かい情報共有を行うようにしている。信頼関係の構築を目指している。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			利用開始時、その他随時において必要な項目の説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			ガイドラインを意識したアセスメント等を実施している。児童発達支援計画においては、保護者に説明し、署名を頂いている。
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			定期的な面談時等に、相談支援を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在は保護者会などの実施を行っていない。要望があれば検討する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			保護者支援に関してその都度適切な対応をとるように配慮している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			ホームページや会報により、子どもや保護者が情報を把握しやすい体制をとっている。連絡や相談が気軽にできるようにLINEでの連絡相談も受け付けている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			個人ファイル等は保管庫に保管し、廃棄書類はシュレッダーを使用している。

保護者への説明責任	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードや写真カードを使用する等、状況に応じて配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今年度、地域の体育館を利用した運動会を開催した。地域住民を招待するまでには至っていないが、今後は行っていきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアル等は、職員や保護者に周知し、閲覧できるように配慮している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		災害整備の点検及び訓練を定期的実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用開始時の聞き取りのなかで実施している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	保護者等からの聞き取りをもとに、必要に応じて対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット、事故報告書はスタッフ間で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修への参加、対応方法等適切にできるように配慮している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現在までに、身体拘束の必要性が生じていないが、その必要がある場合には適切に対応する。